

県身協だより

第2号

平成26年1月1日発行

新年のご挨拶

一般財団法人 青森県身体障害者福祉協会

会長 前田 保



新年あけましておめでとうございます。

皆様には家族共ども良い新年をお迎えしたことで、お慶び申し上げます。

さて、我々「青森県身体障害者福祉協会」は、平成25年度より一般財団法人としてスタートし、9か月が過ぎました。先頃、12月7日には、法人移行を記念して、記念誌を発行し、仙台市障害者

福祉協会会長 阿部一彦氏（日身連副会長）を講師にお招きして研修会を開催しました。また、同日祝賀会も催し、新たなスタートを祝福したところであります。

振り返ると、昭和45年に設立された「県身連」も42年の歴史を終えたわけですが、昭和45年と言えば、「心身障害者対策基本法」（現在の「障害者基本法」）が制定された年でもありました。

長い歴史の中で、思い出される出来事は、平成6年5月に日身連全国福祉大会を青森県で開催したことや、平成10年1月に全国身体障害者スキー大会を雲谷スキー場で開催し、青森県が優勝したことです。この大会では、私も選手として、大回転、クロスカントリーなどの競技に出場しました。

また、去年は、我々障害当事者にとっても、めまぐるしく動いた1年でした。

障害者総合支援法が成立し、本年4月から施行されました。

しかし、障がい者制度改革推進会議総合福祉部会の「骨格提言」という大きな課題が残されました。その課題をどうするかということは、今後我々の運動に委ねられるところが大きいと感じています。

法の目的も「自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう」から「基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう」に変わりました。

我々当事者は、この法の下で更なる団結をすることが必要不可欠となりました。そのためにも、県内身体障害者の皆さん、ぜひ40市町村身障福祉会に加入していただくようお願いします。

そして、先の国会では、12月4日に「障害者権利条約の批准」が承認されました。

近年の障害者に関わる法制化については、平成5年に「心身障害者対策基本法」が「障害者基本法」に改められ、また、平成18年に「ハートビル法」と「交通バリアフリー法」を統合して「バリアフリー新法」が制定されています。

昭和56年の国際障害者年をきっかけに国際的に問題意識が高まり、「完全参加と平等」という理念を実現する最も有効な手段が、障害者の権利条約であると位置付けされた経緯がありました。

条約締結後は、障害者の意見を聞きながら、国内法の整備がされていかなければならないと思っています。

皆さん、本年もよろしくお願いします。

発行者

一般財団法人 青森県身体障害者福祉協会 〒030-0122 青森市大字野尻字今田52-4
TEL:017-738-5059 FAX:017-738-0745 E-mail:aoshinsyou@nemunoki.jp

第39回青森県身体障害者福祉大会・十和田大会を開催 ～要望事項を知事へ要請～

平成25年10月20日(日)に、十和田市民文化センターにおいて、第39回青森県身体障害者福祉大会・十和田大会を開催しました。

大会では、小山田久十和田市長の歓迎のことばの後、功労のあった22名の方々にそれぞれ、青森県知事表彰(6名)、大会長表彰(16名)が授与されました。

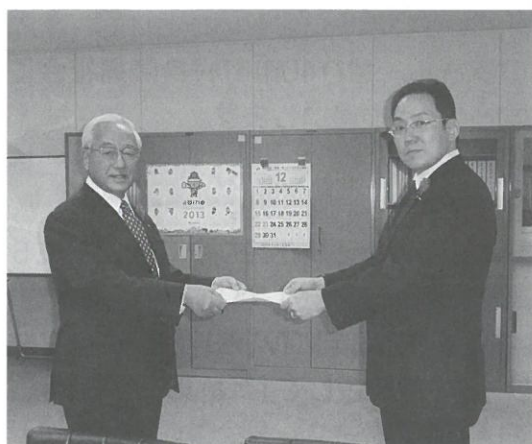
さらに、下記の4項目について大会要望事項が採択されました。

また、アトラクションとして、南部切田神楽会の「権現舞」が披露されました。



大会要望事項

1. 障害者権利条約の批准について
2. 大地震をはじめ災害時における障害者に対応した防災対策について
3. 地域における身障福祉会活動の活性化に向けての強力な支援について
4. 青森県身体障害者福祉センターねむのき会館の改築及びねむのき会館事業の充実について



大会要望事項については、平成25年12月10日(火)に青森県健康福祉部長室を訪問し、知事要請を行いました。

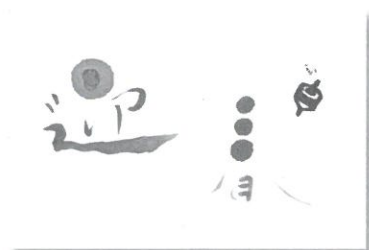
江浪武志部長から、「前田会長には、障害当事者の意見をとりまとめていただき感謝する。ご要望は、重く受け止めさせていただきます。」とのご回答をいただきました。

回答の主なものについては、

2. 障害者の防災対策関連では、県でも市町村を応援するための研修会・懇談会を開催することとしている。貴会でも、「障害者の緊急時対応研修会」を実施するなど、素晴らしいと思う。県でも、どのように関わられるかご相談したい。

3. 地域身障福祉会の活性化関連では、団体活動は加入率が低下するなど過渡期にあるが、魅力有る団体として何ができるのかなど、情報発信が必要と思う。

とのご回答がありました。



今年もよろしく
お願いします。
平成26年 午年

もくじ

・ 新年のご挨拶	P1
・ 第39回青森県身体障害者福祉大会・十和田大会を開催	P2
・ 一般財団法人 青森県身体障害者福祉協会への移行記念研修会・祝賀会	P3
・ 日本身体障害者福祉大会参加の旅(島根)へのご案内	P4
・ ねむのき冬祭り第3回研修会のお知らせ	P4
・ 編集後記	P4

一般財団法人 青森県身体障害者福祉協会への移行記念研修会・祝賀会

昨年4月に、県身協が財団法人から一般財団法人へ移行したのを記念して、平成25年12月7日（土）に、青森市新町にあるウエディングプラザアラスカにて、研修会と祝賀会を開催しました。

研修会では、仙台市障害者福祉協会の阿部一彦会長をお招きし、「障害者制度改革の方向性と課題」と題して、記念講演を行っていただきました。

講演では、2006年に国連総会で「障害のある人の権利に関する条約」が採択されてから、日本は2007年にその条約に署名したものの、先に国内法の整備をすすめるべきだとの障害者団体等の意見を受け、そこから実際に、障害者権利条約批准に向けて、どのような条件整備をしてきたかなど、現在までの流れをわかりやすく解説していただきました。

内閣府障害者政策委員会の委員を務めておられる阿部氏は、2011年に障害者基本法の一部を改正したことを初めとして、

「障害者総合支援法」「障

害者差別解消法」「障害者雇用促進法」の成立と施行に至るまでの過程を、事例を挙げながら、丁寧にお話されていました。

最後に、充実した地域社会生活を送るためには、法律や制度というツール（道具）を使いこなす力が必要であることをあげ、法律、制度の策定や地域の計画策定に主体的に参画しましょうと呼びかけていました。また、競争社会から互いに「つながり」「支えあう」社会にしなければならない、障害のある住民と障害のない住民との協同によるまちづくり、誰もが暮らしやすいまちづくりをして行きましようと呼べられ、研修会の幕が閉じられました。

引き続き、祝賀会が行われ、来賓として青森県健康福祉部障害福祉課課長 菊地公英氏から祝辞をいただきました。その後、アトラクションとして、「津軽三味線 竹友会」による三味線演奏、民謡、手踊りなども披露され、会場は多いに盛り上がっていました。



障害者110番

017-764-2941

Fax.017-764-2942

（障害者110番は障害のある方々やそのご家族等は、障害者などからの相談に応じています。障害者が自立し、安心して生活できるように支援するために設けられた相談窓口です。お電話にて相談ください。）

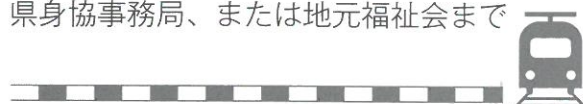
障害者のための 何でも相談

= 受付時間 =
月曜・水曜～日曜
(火曜、祝祭日、年末年始はお休み)
午前10時～午後4時30分
一人で悩まずお電話ください。
017-764-2941

JR ジバング倶楽部特別会員制度

- 入会資格…身体障害者手帳を受けている方。
男性 60 歳以上、女性 55 歳以上の方。
 - 年会費…1,300 円
- お申し込み・お問合せは…
県身協事務局、または地元福祉会まで

201km以上の
JRの乗車券割引



日身体障害者福祉大会参加の旅（島根）へのご案内

第59回日身体障害者福祉大会が、平成26年5月22日（木）・23日（金）の日程で島根県松江市において開催されます。

県身協では、3泊4日の日程で「大会参加の旅」を企画しました。内容は、福祉大会参加のほかに、鳥取砂丘、小泉八雲旧居、松江城、出雲大社参拝等を予定しています。また、山陰を代表する玉造温泉での懇親会や城下町散策などをお楽しみいただけます。

旅行期日：平成26年5月21日（水）～5月24日（土） 3泊4日

旅行代金：おひとり様 109,000円（大会参加費含む）

募集人数：30名

申込方法：平成26年3月20日（木）までに、県身協事務局へお申込ください。旅程の詳細や申込書は、1月下旬に各市町村身障福祉会長あて送付いたします。多数のご参加をお待ちしております。



島根県観光キャラクター「しまねっこ」



出雲大社



穴道湖



足立美術館

- 1日目 5/21（水）青森空港（11時頃）⇒伊丹空港＝鳥取砂丘＝鳥取市内（泊）
- 2日目 5/22（木）足立美術館＝松江市内＝しんじ湖温泉（泊）
- 3日目 5/23（金）大会参加（午前）＝出雲大社＝玉造温泉（泊）
- 4日目 5/24（土）伊丹空港⇒青森空港（17時頃）

ねむのき冬祭りと第3回研修会のお知らせ

平成26年2月22日（土）、ねむのき冬祭りが開催されます。併催して、「障害者福祉に係る研修会（第3回）」も行われますので、皆さまお誘い合わせの上、ご参加ください。

恒例の本研修会は、女性建築家として活躍されている高樋 忍先生に、「障害者と住環境（仮題）」というテーマで、ご講演していただきます。高樋先生は、長らく「障害者の住まい」に関してご研究をされており、事例を通した興味深いお話を伺えるものと期待しております。

第3回 障害福祉に係る研修会

日時	平成26年2月22日（土） 13：00～15：00
場所	青森県身体障害者福祉センター ねむのき会館 大研修室
テーマ	「障害者と住環境（仮題）」
講師	1級建築士 福祉住環境コーディネーター クレイドル代表 高樋 忍 氏

編集後記

平成25年は、「県身連」にとっても、「県身協」にとっても慌しい1年でした。

一般財団法人へ移行した初年度なので、以前にも増して「公益目的事業」に力を注いだため、ほとんど「走りながら考える」状態で事業を進めてきました。

平成25年度は、「障害者スポーツ」と「障害者福祉関係の研修」の2点に特化し、県レベルの障害者団体として、市町村身障福祉会との連携を念頭に、事業実施に努めました。

おかげさまで、青森市内やねむのき会館における参加者（利用者）も、青森市以外で開催する事業（アウトリーチ＝出前事業）も参加者が増えております。

平成26年も職員一同、会員及び地域の皆様に喜んでいただける事業の推進に努めて参りますので、よろしくご支援をお願いいたします。

事務局長 大池 謙一